有限会社 南川刺繍工芸

［業種］**製造**

◆代表者名　代表取締役　南川　芳行
◆設立年月日　1987年12月24日
◆所 在 地　〒922-0111
石川県加賀市山中温泉塚谷町ロ58番地
◆Ｔ Ｅ Ｌ　0761-78-2322
◆Ｆ Ａ Ｘ　0761-78-2322
◆Ｕ Ｒ Ｌ　https://www.minamikawa-shisyu.com/
◆E-mail　info@minamikawa-shisyu.com
◆従業員数　３人
◆資本金額　500 万円

事業計画名

新型機械による刺繍領域の拡大と日本初の刺繍化粧箱の開発



TAJIMA　TMAR-K1508C

事業に取り組んだ経緯・背景

５年前に家業を継ぎ、それまで全く異なる職種だったため素人として刺繍業界に入る。
客観的に自社を見てみると、20 年前から変わらない工賃、刺繍機械の老朽化がひどく、それに反して刺繍業界は多様化していた。布製品、主に学校制服やセーターがメインの刺繍から、帽子やリストバンド、ワッペン加工などのニーズが多くなり、刺繍自体の質は高く評判が良かったため、各種のオーダーが来るのだが、機械の老朽化によって機会損失が生じてしまっていた。

そのため、刺繍領域の拡大を狙い、最新の刺繍機械の導入と、同時に加賀市にある「尾崎紙器」さんとの共同開発で日本初の「刺繍化粧箱」の商品開発を目指していく。

最新型刺繍機では、布だけでなく皮製品、帽子、靴などにも刺繍加工が可能なる。

事業内容

新型刺繍機械を導入することにより、多様な素材への刺繍加工を可能とし、刺繍速度向上により、生産性の向上が見込まれる。そして、最新のコンピューター管理により、糸や針の強さをコントロールして、従来の機械刺繍では出せなかった「手刺繍」のような風合いも表現できるようになる。

また、そのコンピューター管理で「紙箱」にも刺繍可能となり、「刺繍化粧箱」を開発して商品化していきたい。

事業の成果

導入した刺繍機械は「TAJIMA　TMAR-K1508C」という新型多頭機を２台。刺繍速度は４倍に向上し、データ管理も容易になった。また最大の特徴は機械が素材によって糸や針の強さをコントロールしてくれることであり、これにより、布製品のみだった刺繍加工が、帆布などの厚手の布製品、皮製品、帽子、靴などにも刺繍加工可能となり、多様なオーダーに対応可能となった。

同時に、「尾崎紙器」さんとの共同開発商品である「刺繍化粧箱」の開発も進んでおり、何点か商品化もしている。従来では単なる「入れ物」であった紙箱に刺繍を施すことにより、工芸品・美術品としての化粧箱を製作していく。そこに施す刺繍も単なる刺繍ではなく、日本刺繍と呼ばれるいわゆる「手刺繍」の風合いを新型機械で表現可能としており、「日本初の刺繍化粧箱」を今後も開発していきたい。

事業の現在の状況

この事業に取り組んだ結果として、多様な素材への刺繍が可能となり、当初の想定を上回る刺繍加工の多様化を果たしている。同時に刺繍速度の向上により生産性も向上している。

「刺繍化粧箱」の方は、昨年尾崎紙器さんにご不幸があり、開発が鈍化している。仕切り直して新たな商品開発を手掛けている途中である。

また、開発の副産物として「和紙」にも刺繍が可能となったため、神社仏閣で見られる「御朱印」を刺繍で加工して商品化できないか模索中である。



箱刺繍サンプル



社屋外観

［得意分野］
刺繍加工（衣類、帽子、布、皮、紙など）
刺繍データ作成
シルクスクリーンプリント加工

［主要取引先］
小松ニット株式会社　（株）ナッツ　（株）福富

［商品］
刺繍加工品
刺繍データ作成代行
シルクスクリーンプリント加工
各種ワッペン

［代表者からの一言］
「刺繍」を身近にしてもらいたく、企業からだけでなく個人からの依頼にも対応しています。イベントなどにも刺繍機を持ち込んで出店していきます。「刺繍は個性」この言葉をみなさんにお伝えしたく、刺繍で自由に刺繍を使って付加価値をつけてもらいたいです。今後は布製品だけでなく、多種多様な素材に刺繍を施して刺繍の可能性を広げていきたいです。



代表取締役　南川　芳行